

2018年度  
慶應義塾大学入学試験問題

商 学 部

地 理

- 注 意
1. 受験番号と氏名は、解答用紙 A（マークシート）と解答用紙 B のそれぞれ所定の欄に必ず記入すること。さらに、解答用紙 A（マークシート）の受験番号欄をマークすること。
  2. 解答は、必ず指定された解答用紙の所定の欄に記入ないしマークすること。解答欄外の余白および採点欄には一切記入してはならない。
  3. 解答用紙 A（マークシート）への記入に先立って、用紙上に記載された注意事項を必ず読むこと。
  4. 解答用紙 A（マークシート）の解答欄にマークするときには、すべて HB の黒鉛筆を使用し、また、次の解答例に従うこと。  
(解答例) 

(12)
------

 と表示のある問いに対して、3 と解答する場合は、右に示すように解答欄 

(12)
------

 の ㉓ にマークすること。  
なお、2桁の数字の場合には、以下のようにマークすること。  
例えば、空欄 

(19)
------

(20)
------

 の解答が 36 の場合、解答欄 

(19)
------

 の ㉓ にマークし、解答欄 

(20)
------

 の ㉖ にマークする。
  5. 問題用紙は下書きに用いてよろしい。
  6. この冊子の総ページ数は 8 ページである。

(12)  
①  
②  
③  
④  
⑤  
⑥  
⑦  
⑧  
⑨  
⑩

試験開始の合図とともに全てのページが揃っているか確認してください。ページが抜けていたり重複するページがあったら直ちに監督者に申し出てください。

《指示があるまで開かないこと》

## I. 次の文章を読み、後の設問に答えなさい。

化学繊維が現れるまで、人類は自然環境から衣服の素材や繊維を得てきた。たとえば、イヌイットが用いる (1) (2) の皮や、アンデス高地で利用された (3) (4) の毛など、衣料素材には地域性が色濃く反映される。一方、輸送手段が限られていた古代においてさえ、繊維製品は長い距離を超えて取引された。たとえば中国の (5) (6) は、貴重な交易品としてアジア内陸部を通る隊商によって西方まで伝えられた。また、綿の産地と流通路の変遷は、現代世界における衣料の歴史そのものと言ってよい。

現在、世界で生産される天然繊維の大半を占める綿であるが、元来は (5) (6) と同様、ごく狭い地域において利用される産品に過ぎなかった。綿の原料である綿花には複数の原種があるが、旧大陸で広まったものは (7) (8) 原産とされる。これが中国大陸の長江流域へと広まったのが14世紀、日本で栽培されるようになったのは16世紀ごろと、それほど古いことではない。しかし日本においては江戸時代中期までに、生産効率に優れた綿は、それまで広く用いられていた (9) (10) を駆逐して大衆衣料の主流となった。一方、同時代のヨーロッパにはアジアから大量の綿織物が流入したが、それでも、織物のうち綿が占める割合は1割にも満たず、未だ希少品であった。産業革命はこの状況に大転換をもたらした。(11) (12) 機によって綿糸の生産性が向上し、(13) (14) 機の発明で機械動力が導入された。さらに、動力自体が (15) (16) から (17) (18) へと発展したことに後押しされて、イギリスは世界的な綿織物生産国に転じた。飛躍的に生産量を伸ばした綿織物は、価格の (19) (20) に伴って大量の消費を生み出し、世界中に輸出された。(ア)ランカシャー地方の綿布は、最盛期には世界の輸出量のおよそ8割を占めるに至った。この時代、(イ)急速に発展するイギリス綿業にとって、原料の確保こそが死活問題であった。その主たる供給源となった(ウ)アメリカ大陸では、綿花生産が19世紀中頃までに飛躍的な成長を遂げた。

(エ)著しく均質化する現代の衣料も、産業革命後の綿の普及の延長線上に位置づけられる。Tシャツやジーンズなどを通じて世界に広く普及したアメリカの衣文化が、綿という素材と強く結びついているのは偶然ではないだろう。

問1 文中の空欄 (1) (2) ～ (19) (20) にあてはまる最も適切な語句を下の語群より選び、その番号を解答用紙A(マークシート)の解答欄にマークしなさい。

## 《語群》

- |             |            |          |         |
|-------------|------------|----------|---------|
| 11 麻        | 12 アザラシ    | 13 アルパカ  | 14 安定   |
| 15 インド      | 16 カリフォルニア | 17 企業的穀物 | 18 絹    |
| 19 下落       | 20 コロラド    | 21 コロンビア | 22 混合   |
| 23 三圃式      | 24 資本      | 25 蒸気力   | 26 上昇   |
| 27 人力       | 28 スイギユウ   | 29 水力    | 30 製糸   |
| 31 チベット     | 32 テキサス    | 33 トルコ   | 34 風力   |
| 35 プランテーション | 36 フロリダ    | 37 紡績    | 38 ミネソタ |
| 39 木綿       | 40 モンゴル    | 41 ヤク    | 42 羊毛   |
| 43 ラクダ      | 44 力織      | 45 労働    | 46 綿線   |

問2 (i) 下線部(ウ)について、次の空欄 (21) (22) ~ (29) (30) にあてはまる最も適切な語句を問1の語群より選び、その番号を解答用紙A(マークシート)の所定の解答欄にマークしなさい。

「アメリカ南部における綿作は、多くの黒人奴隷を利用した (21) (22) 集約的な (23) (24) 農業として成立したが、第二次大戦後は (25) (26) 集約的な農業へと転換した。ただし、綿作の中心地は、より西側の (27) (28) 州や (29) (30) 州へと移っている。」

(ii) アメリカにおける綿作の変化について、下線部①から④で適当でないものを一つ選び、その番号を解答用紙A(マークシート)の解答欄 (31) にマークしなさい。

① アメリカの伝統的綿作地域は連作障害のために作物の多角化を余儀なくされ、さらに、② 奴隷解放後の労働力不足を克服できなかったことで決定的に衰退した。一方、③ 西側の後発地域における綿作は早期の機械化を達成したために高い労働生産性を得るに至った。たとえば、④ ストリッパーと呼ばれる自動摘み取り機の導入は、収穫作業の大幅な効率化に貢献した。

問3 下線部(エ)について、以下の文章の下線部①から④で適当でないものを一つ選び、その番号を解答用紙A(マークシート)の解答欄 (32) にマークしなさい。

衣料のグローバル化によって、多国籍企業の生産する均質な製品が世界中で消費されるようになった。① 繊維工業は安価な労働力を必要とするため、発展途上国に工場を立地することが多いが、② 開発やデザイン等の企業の中核部門は先進国に置かれている。これは、③ 製品の輸送費を最小化するために消費地である大都市に好んで立地する服飾産業の特性によるものである。このような④ 国際分業の進展は、先進国と発展途上国の経済格差を拡大する要因の一つである。

問4 下線部(ア)について、空欄 ( a ) ~ ( c ) に入る語句を記しなさい。解答は、解答用紙Bの所定の欄に書きなさい。

「ランカシャー地方はペニン山脈の西側に位置し、( a ) の影響を受けた湿潤な気候が綿業に好都合であった。この地方最大の港湾都市 ( b ) と最大の工業都市 ( c ) を結ぶマージー川の水運を背景として産業革命が進展した。」

問5 下線部(イ)について、イギリスが原料を輸入に頼った自然的要因を25字以内で述べなさい。解答は、解答用紙Bの所定の欄に書きなさい。

問6 次の表は、綿花の産出量と輸出量の上位3カ国を示すものである。(FAOSTATによる。統計年度は2013年度。)空欄 ( a ) ~ ( c ) に入る国名を記しなさい。解答は、解答用紙Bの所定の欄に書きなさい。

綿花産出量 (単位・100万トン)		綿花輸出量 (単位・100万トン)	
( a )	6.3	( c )	2.8
( b )	6.1	( b )	2.4
( c )	2.8	オーストラリア	1.2

## II. 次の文章を読み、後の設問に答えなさい。

1930年代以降、ヨーロッパ諸国、アメリカおよびカナダでは、フランス語で (33) (34) と言われる長期休暇の取得が法律で認められ、観光旅行が一般化した。経済発展や余暇の増加、航空運賃の低価格化などにより、国際観光客数は増加傾向にあり、2012年には10億人に達した。日本では1964年に海外旅行が自由化され、1980年代に旅行者数が急増した。これは (あ) によって海外旅行が割安になったことも原因の1つである。一方、2012年から、(い) の発給要件の緩和と (う) などが契機となり、訪日外国人旅行者数は急増し、2015年には日本人の海外旅行者数を上回った。しかし、日本の<sup>(ア)</sup>国民総所得に占める観光収入の割合はヨーロッパ諸国のそれと比べると高くない。そもそも観光業は観光に関連するさまざまな業種を包括したもので<sup>(イ)</sup>広範囲の産業に及ぶため、21世紀の主要産業の一つと考えられ、各国で<sup>(ウ)</sup>様々な政策が実施されている。

世界遺産は、顕著な普遍的価値を持つ遺跡、景観、自然の保護を目的とする (35) (36) の事業であり、観光の促進を目的としたものではないが、登録により観光客が増加することが多い。日本の世界遺産として、信仰の対象と芸術の源泉として活火山である (37) (38) が2013年に世界文化遺産に登録された。アジアの世界遺産として、雲南省のハニ族が傾斜地に作り上げた元陽の (39) (40)、チベット自治区<sup>(エ)</sup>ラサのポタラ宮、(41) (42) の寺院として建築されたカンボジアのアンコールワット、(43) (44) 帝国の都が置かれた青の都サマルカンド、3000年余の歴史を刻むイエメンの首都 (45) (46) 旧市街地がある。トルコのカップパドキアの岩窟群では様々な奇岩を堪能できるだけでなく、3世紀以降、迫害を逃れた初期の (47) (48) 信徒がつくった都市遺跡もある。南アメリカの世界遺産としては、(49) (50) 帝国のマチュピチュ遺跡、ギアナ高地のロライマ山が有名である。ボリビアのウユニ塩湖はその美しさだけでなく、レアメタルである (51) (52) の開発が進められている。

都市観光も多く観光客を集める。ニューヨークのブロードウェイでは様々な娯楽が提供されるが、特に (53) (54) が有名である。サンクトペテルブルグはロシア文化の中心であり、歴代皇帝の宮殿だった建物を利用した (55) (56) 美術館には多くの美術品が収蔵されている。現地の民族音楽を楽しむのも旅の醍醐味である。南米アンデスの (57) (58) はその一つで「コンドルは飛んでいく」は日本でも有名な曲である。

食も観光を構成する重要な要素の1つである。メキシコでは (59) (60) の粉を水でこねて円形に薄くのばし、鉄板で焼き上げたトルティーヤに具を挟んで食べるタコスがある。エチオピアでは、(61) (62) という雑穀を粉にして水を加え、発酵させたのちに薄いクレープのように焼いたインジェラを主食としている。インドや西アジアでは小麦粉の生地を発酵させてから焼く (63) (64) が広く食べられている。

問1 文中の空欄 (33) (34) ～ (63) (64) に当てはまる最も適切な語句を下の語群より選び、その番号を解答用紙 A (マークシート) の所定の解答欄にマークしなさい。

## 《語群》

- |            |            |           |          |
|------------|------------|-----------|----------|
| 11 UNCTAD  | 12 UNESCO  | 13 UNICEF | 14 アステカ  |
| 15 阿蘇山     | 16 アディスアベバ | 17 イスラム教  | 18 インカ   |
| 19 エルミタージュ | 20 塩化ナトリウム | 21 オペラ    | 22 河岸段丘  |
| 23 カレーズ    | 24 ガレット    | 25 キリスト教  | 26 キャッサバ |

- |          |           |           |            |
|----------|-----------|-----------|------------|
| 27 金     | 28 米      | 29 サヌア    | 30 サンバ     |
| 31 ジャガイモ | 32 ジャズ    | 33 棚田     | 34 ダマスカス   |
| 35 タンゴ   | 36 チャパティ  | 37 ツーリズム  | 38 ティムール   |
| 39 テフ    | 40 トウモロコシ | 41 ナン     | 42 バカンス    |
| 43 バレエ   | 44 ヒエ     | 45 ヒンドゥー教 | 46 フォルクローレ |
| 47 富士山   | 48 仏教     | 49 マヤ     | 50 ミュージカル  |
| 51 ムガール  | 52 モンゴル   | 53 ラパス    | 54 リゾート    |
| 55 リチウム  | 56 ルーヴル   | 57 屋久島    | 58 ユダヤ教    |

問2 下線部(エ)について、これと同程度の高度(標高)の都市を問1の語群から選び、その番号を解答用紙A(マークシート)の解答欄 (65) (66) にマークしなさい。

問3 以下の表は2014年の国別の国際観光収入と支出を示したものである(『観光白書』平成28年版より。単位:億ドル)。空欄(a)~(c)に該当する最も適切な国名を下の語群から選び、その番号を解答用紙A(マークシート)の解答欄 (67) ~ (69) に順にマークしなさい。

収入	アメリカ	(a)	中国	(b)	イギリス	イタリア	(c)	タイ
	1772	652	569	554	459	455	433	384
支出	中国	アメリカ	(c)	イギリス	ロシア	(b)	カナダ	イタリア
	1649	1108	922	569	504	478	338	288

《語群》

- 1 スペイン                      2 ドイツ                      3 日本                      4 フランス

問4 文中の空欄(あ)~(う)に入る最も適切な語句を、それぞれ2字で解答用紙Bの所定の欄に書きなさい。

問5 下線部(ア)について、その定義を説明した次の文章の空欄(a)~(c)にあてはまる最も適当な語句を、それぞれ漢字2字で解答用紙Bの所定の欄に書きなさい。

「一定期間に( a )で生産された財やサービスの付加価値額の合計に( b )からの( c )を足したものの。」

問6 下線部(イ)について、以下の表は2014年の日本国内の産業別旅行消費額を示している(『観光白書』平成28年版より。単位:兆円)。空欄(a)に該当する産業名を漢字2字で解答用紙Bの所定の欄に書きなさい。

	運輸業	(a)業	飲食店業	食料品産業	旅行サービス業等	小売業
旅行消費額	5.87	3.62	2.65	1.70	1.61	1.26

問7 下線部(ウ)について、オーストラリア等で採用されている、若者が滞在費を補うために、一定期間に限って働くことを認める制度の名称を解答用紙Bの所定の欄に書きなさい。

問8 下線部(ウ)について、EU内での人の移動が多い理由の一つでもある、協定国間の出入国審査を廃止した協定の名称を解答用紙Bの所定の欄に書きなさい。

## III. 次の文章を読み、後の設問に答えなさい。

地球環境問題は21世紀を生きる我々が直面する最大の難問の一つである。20世紀後半以降、化石燃料の消費が急増すると大気中の二酸化炭素濃度は急速に上昇した。この(ア)二酸化炭素、(70) (71)、および(72) (73)などは温室効果ガスと呼ばれ、地球温暖化への影響が懸念されている。(70) (71)は、草食動物の腸内発酵や廃棄物などからも発生するが、(74) (75)気候の泥炭地の凍土に大量に含まれているとされ、温暖化による凍土の融解による大量放出が危惧されている。(72) (73)は、(イ)地表の生物を守る働きをするオゾン層の破壊物質でもあり、1985年に採択されたウィーン条約と、それに基づいた(76) (77)議定書により、生産禁止へ向けた国際的な連携が活発化した。温暖化の影響として、南極大陸や(78) (79)などの高山地帯では氷河の後退が確認されている。そのことによって、国土の大部分が低地にある(80) (81)やバングラデシュ、島国の(82) (83)などでは、海面上昇に伴う国土水没の危険が高まっている。

1972年、スウェーデンの(84) (85)で開催された国連人間環境会議では(86) (87)が標語とされ、人間環境宣言および行動計画が採択されて、環境を重視する国際的な取り組みが始まった。この行動計画に基づき、同年、(ウ)国連環境計画(UNEP)が設立された。1992年に(88) (89)で開かれた「環境と開発に関する国際連合会議(地球サミット)」では、未来に向けた行動計画として(90) (91)が採択され、「(あ)条約」、「生物多様性条約」など、その後の国際的な環境政策の根幹となる条約が締結された。温暖化防止にとっても重要な課題である森林保全に関しては、国連食糧農業機関や先進国の企業が協力して大規模な植林事業が行われているが、樹種が多様な(エ)熱帯林では植林によって以前の植生を再現することは難しい。そのため、伝統的な焼畑農業の休閑期を参考にした複合的な(い)が試みられている。

2010年に開催された生物多様性条約の第10回締約国会議では、(92) (93)資源の宝庫といわれる熱帯林をめぐる、(オ)自国の自然資源から利益を得ようとする発展途上国側と、医療品などの目的でその資源を優先的に利用してきた先進国側が大きく対立した。また、(94) (95)などの利用は、森林で生活してきた先住民族の伝統的知識であり、その知識を一方的に利用することは、先住民族の(96) (97)を奪うことにもなる。地球の生物多様性を保護することは、地域の文化や民族の多様性を守ることでもある。

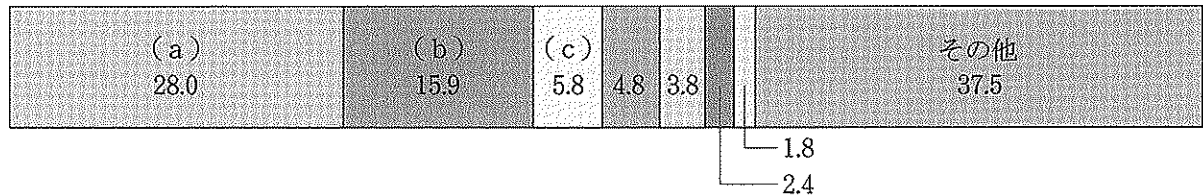
問1 文中の空欄(70) (71)～(96) (97)にあてはまる最も適当な語句を下の語群より選び、その番号を解答用紙A(マークシート)の解答欄にマークしなさい。

## 《語群》

- |            |              |            |         |
|------------|--------------|------------|---------|
| 11 アジェンダ21 | 12 アディアスアベバ  | 13 遺伝子     | 14 オスロ  |
| 15 オランダ    | 16 かけがえのない地球 | 17 持続可能な発展 | 18 人権   |
| 19 ステップ    | 20 ストックホルム   | 21 繊維      | 22 タイガ  |
| 23 地下      | 24 窒素        | 25 知的財産権   | 26 ツンドラ |

- 27 ナイロビ                      28 パーゼル                      29 パラグアイ                      30 ブータン  
 31 フロン                        32 ベルギー                      33 マダガスカル                      34 水  
 35 メタン                        36 モルディブ                      37 モントリオール                      38 薬草  
 39 ヨハネスバーグ                      40 リオデジャネイロ                      41 ワシントン条約                      42 われら共通の未来

問2 下線部(ア)について、世界の二酸化炭素排出量に占める国別の排出割合を示した以下のグラフ(IEA 資料 2013年)の(a)～(c)に当てはまる国名を下の語群から選び、解答用紙A(マークシート)の解答欄(98)～(100)に順にマークしなさい。



《語群》

- 1 アメリカ                      2 インド                      3 中国                      4 ドイツ                      5 日本

問3 下線部(ウ)について、これは発展途上国に本部を置いた最初の国際機関であるが、これが所在する都市はどこか。問1の語群より選び、解答用紙A(マークシート)の解答欄(101)～(102)にマークしなさい。

問4 下線部(イ)について、これが地上の生態系を守るために果たしている役割とは何か。解答用紙Bの所定の欄に10字以内で述べなさい。

問5 (あ)条約に中国は加盟せず、2001年にはアメリカが離脱した。空欄(あ)に入る名称を解答用紙Bの所定の欄に全て漢字で書きなさい。

問6 下線部(エ)について、以下の文章の空欄に入る語句を解答用紙Bの所定の欄に書きなさい。

「熱帯林は熱帯に分布する森林の総称であるが、なかでも( a )は乾季と雨季のある地域に発達する森林を指し、( b )は海岸や河口の潮間帯に分布する森林を指している。」

問7 空欄(い)に入る名称を、解答用紙Bの所定の欄にカタカナで書きなさい。

問8 下線部(オ)について、1950年代以降、発展途上国では自国の天然資源に対する主権の確立や、それによる経済発展を図るため多くの資源カルテルが生まれた。そのうち、メジャーに対抗した最初の資源カルテルは何か、解答用紙Bの所定の欄に書きなさい。

《以下余白》